

こんにちは、お世話様です。

こんにちは、お世話様です。いよいよ暑い夏がやって参りました。今年は1994年以來の猛暑と聞いてます。子供達も休みに入り、毎日、ラジオ体操とプールの往復になってます。もう既に真っ黒になり、水着の跡がクッキリ付いてます。暑いけど、夏らしい光景ですね。皆様も夏バテしない様に、水分と睡眠は十分、おとり下さい。

さて、4回目になりました。いろいろな、わからない建築用語や情報をお送りします。今回は、家の換気・通気について、お話します。

家は暑いと窓を開けますよね？エアコンもいいですが、24時間稼働させてるには費用がかかり過ぎますね？それと関係なく、換気ができる換気口。何の為に付けるのでしょうか？

これは平成15年7月1日施行の建築基準法の改正による「シックハウス対策」の1つで、ホルムアルデヒドを発生する建材を使用しない場合でも、家具からの発生があるため、**原則として全ての建築物に機械換気設備の設置が義務付けられました。**

例えば、住宅の場合、**換気回数0.5回/h以上の機械換気設備**(いわゆる24時間換気システムなど)の設置が必要となったからです。簡単に言えば、2時間に1回の換気をしななければいけないという事です。家具業界は規制が甘く、まだホルムアルデヒドを含む材料が使われているからです。

通気は、特に外壁・軒裏・屋根に空気を通す事を言います。何故、空気を通すと言えば、先月号でも言いましたが、この部分も結露はあるのです。構造部の木材が腐食する可能性もあります。その為、外壁は通気層を取り(下写真参照)、軒裏は穴の開いた有孔板を張り、屋根の棟に換気棟を付けます。すなわち、外壁の下の部分から空気を取り入れ、壁を通り、小屋裏を抜け、換気棟から排出する通気工法にする事で、家の構造部分も長持ちさせるのです。

尚、上記の換気システム・通気工法は、エムワン・ホームにも採用されてます。



クリナップの展示会がありました。

エムワン・ホームに標準採用している、(株)クリナップの展示会がありました。今年2月に大きな発表会を行ったので、目新しいものは、あまりなかったのですが、クリナップさんは水周りメーカーさんではトップクラスの技術を持っています。中間グレードのキッチンに、静かに閉まる油圧式ダンパー付きの引き出し、水音があまりしないシンク等、最高グレードしか採用してなかった技術を中間グレードに採用しています。興味のある方は、御連絡下さい。

